

科目名	コミュニケーション論	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	田中 敦	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-1-110025	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	情報化社会において、多様な手段と方法で行われるコミュニケーション行為の成り立ちを理解し、そこで送受信される情報を読み解く能力を養成する。 自ら情報を収集し、その内容を多面的に分析する課題に取り組むことで、マス・メディアの情報発信に対して問題意識をもって向き合う姿勢を身につける。				
学修到達目標	各種メディアによるコミュニケーションの構造を理解し、そこで送受信される情報を、自分なりに分析して理解する力が身に付く。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	ガイダンス、コミュニケーションの諸相 授業概要を説明、各種コミュニケーションの形式を確認する
第2回	コミュニケーションの構造 コミュニケーションが成立する条件を確認する
第3回	言語とコミュニケーション 言語記号による情報伝達、対人配慮行動について学ぶ

第4回	記号とコミュニケーション 様々な記号による情報伝達について学ぶ
第5回	第1回課題演習（ディスカッション含む） 視覚記号の実例を探して、それが表す意味を分析する
第6回	記号の価値 記号が意味を表す仕組みについて考える
第7回	広告とコミュニケーション 説得的コミュニケーションの手法について考える
第8回	レトリックとコミュニケーション コミュニケーションで用いられるレトリックの手法を考える
第9回	第2回課題演習（ディスカッション含む） 広告のメッセージと、それを伝える方法を読み解く
第10回	マス・メディアとコミュニケーション マス・コミュニケーションの特徴と手法を分析する
第11回	メディアとプロパガンダ マス・メディアが世論形成に与える影響と、その手法を分析する
第12回	ソーシャル・メディアとコミュニケーション メディアの違いによる情報伝達の仕組みについて分析する
第13回	コミュニケーションと社会 情報化社会のコミュニケーションのあり方を考える

第14回	第3回課題演習（課題解決型学習） 効果的な情報発信の方法を提案する
第15回	まとめ・全体総括 これまでの学習内容を振り返り、コミュニケーションの構造をまとめる
第16回	期末試験 (小論文形式の筆記試験を予定)

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間：配布の講義資料を通じて、各回の内容を予習する。
【復習】時間・内容	2時間：配布資料の見直しと不明点の確認を行い、講義内容を理解する。

成績評価	
評価基準・方法	成績は、期末試験の点数(50%)、課題レポートへの取り組み(30%)、授業への取組状況(20%)を合わせて、総合的に評価します。
フィードバック方法	課題レポートについては、優秀な考察を授業内で取り上げ、講評を行います。 期末試験の模範解答は、ポータルサイトを通じて掲示します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	PBL（課題解決型学習）／ディスカッション、ディベート
教科書/参考書	教科書を事前に購入する必要はありません。 ポータルサイトを通じて講義資料を配布しますので、印刷して授業時に持参してください。 参考文献は、授業の中で紹介します。
受講上の留意点等	知識や理論を一方的に習うのではなく、学んだ理論を用いて実践的な「分析」に取り組んでもらうので、積極的に題材を探し、自分の言葉で考えられる人の受講を求めます。
JABEE	